

番 号 : 170388

国 名 : スリランカ

担当部署 : 地球環境部水資源グループ水資源第一チーム

件 名 : 国家上下水道公社事業運営能力向上プロジェクト 詳細計画策定調査 (上水道事業運営/無収水対策)

1. 担当業務、格付等

- (1) 担当業務 : 上水道事業運営/無収水対策
- (2) 格 付 : 3号
- (3) 業務の種類 : 調査団参团

2. 契約予定期間等

- (1) 全体期間 : 2017年7月下旬から2017年11月上旬まで
- (2) 業務M/M : 国内 0.6M/M、 現地 0.8M/M、 合計 1.4M/M
- (3) 業務日数 : 準備期間 現地業務期間 整理期間
5日 24日 7日

3. 簡易プロポーザル等提出部数、期限、方法

- (1) 簡易プロポーザル提出部数 1部
- (2) 見積書提出部数 : 1部
- (3) 提出期限 : 7月5日(12時まで)
- (4) 提出方法 : 専用アドレス (e-propo@jica.go.jp)への電子データの提出又は郵送 (〒102-8012 東京都千代田区二番町5番地25二番町センタービル) (いずれも提出期限時刻必着)
提出方法等詳細については JICA ホームページ (ホーム>JICA について>調達情報>公告・公示情報/結果>コンサルタント等契約案件公示 (業務実施契約 (単独型))>業務実施契約 (単独型) 公示にかかる応募手続き)
(<https://www2.jica.go.jp/ja/announce/pdf/procedure.pdf>) をご覧ください。なお、JICA 本部 1階調達部受付での受領は廃止しておりますので、ご持参いただいても受領致しかねます。ご注意ください。
- (5) 評価結果の通知 : 提出されたプロポーザルは JICA で評価・選考の上、各プロポーザル提出者の契約交渉順位を決定し、2017年7月18日(火)までに個別に通知します。

4. 簡易プロポーザル評価項目及び配点

- (1) 業務の実施方針等
 - ①業務実施の基本方針 16点
 - ②業務実施上のバックアップ体制等 4点
 - (2) 業務従事予定者の経験能力等
 - ①類似業務の経験 40点
 - ②対象国又は同類似地域での業務経験 8点
 - ③語学力 16点
 - ④その他学位、資格等 16点
- (計 100点)

類似業務 :	上水道事業運営及び無収水対策に係る各種業務
対象国/類似地域 :	スリランカ/全途上国
語学の種類 :	英語

5. 条件等

- (1) 参加資格のない社等 : 特になし
- (2) 必要予防接種 : 特になし

6. 業務の背景

スリランカでは、1975年の国家上下水道公社（National Water Supply and Drainage Board : NWSDB）設立以降、大部分の地域で NWSDB 管轄のもと上水道施設を整備し、安定した給水サービスの実現を目指して多くの取組を実施してきた。結果として、改善された水源へのアクセス率は、94%（WHO/UNICEF Joint Monitoring Programme : JMP、2015）まで上昇し、また人口が集中しているコロombo県の水道普及率は 94.5%に達している。しかし、スリランカ国全体の水道普及率は 47.7%と、依然として低い水準に留まっており、NWSDB の「経営計画」（2016～2020年）では、2020年までに全国で水道普及率 60%を実現する方針が盛り込まれている。

今後、水道普及率を拡大し、より多くのスリランカ国民に対して安定した給水サービスを提供するためには、NWSDB が事業運営を改善し、給水能力を拡大させることが必要である。一方で、NWSDB は財務健全性に課題があり、営業収入では日常的な維持管理費用しか賄うことができず、開発資金の大部分は開発パートナーの資金や政府の支援によるものとなっている。他方で、スリランカ政府の財政は慢性的な赤字を抱えており、財政の健全化に向けて公社の経営健全化を推し進めている。ウィクラマシンハ首相による 2016 年の予算演説では、NWSDB を含む公社の財務独立性を高める方針が表明されて、国家財政の支援を前提にした水道事業経営を続けることは難しくなっている。従って、NWSDB にとっては、事業効率を高め、維持管理費用や投資費用を効率的・効果的に配分することが急務であり、さらには透明性の高い事業計画の策定や、周辺国に比べても低い水準である水道料金の改定等経営改善に向けた取り組みを促進することが必要である。かかる状況を受けてスリランカ政府は、NWSDB の事業運営能力向上に向けた技術協力プロジェクトの実施を、日本政府に要請した。

スリランカ上水道セクターに対する我が国の支援は、資金協力による給水施設の建設が中心となっており、技術協力による支援範囲は限定的であった。このため当該セクター及び NWSDB 全体の組織能力に係る情報が不足していたため、JICA は要請採択に先立ち、上水道セクター基礎情報収集・確認調査を実施した。同調査では NWSDB の情報を整理し、各支援要請課題（①アセットマネジメント、②無収水対策、③料金徴収・料金設定、④人材管理、⑤人材育成・研修開発）に対する協力実施の妥当性を検討した。同調査を通して、特にアセットマネジメント導入に対する NWSDB の強い意欲、「コロombo市無収水削減能力強化プロジェクト（技術協力）」（2009年～2012年）の取り組みをコロombo市外で実践することによる、一層の無収水率削減の必要性、ならびに技能研修の導入及び研修講師の育成の必要性等を確認し、支援要請課題のうち、アセットマネジメント、無収水対策及び人材育成・研修開発が協力実施の妥当性が高い課題であると結論付けた。この結果を踏まえたうえで技術協力の方向性をまとめ、管路の整備・維持管理能力の向上をプロジェクトの目標とした協力枠組みについて JICA と NWSDB の間で協議した。

上記の要請並びに上水道セクター基礎情報収集・確認調査等の経緯を踏まえ、本詳細計画策定調査では、本プロジェクトの具体的な枠組み（到達目標及び活動内容、工程、実施体制等）について、スリランカ側関係機関と協議・最終合意し、その内容を協議議事録（Minutes of Meeting、以下 M/M）として締結することを目的としている。

7. 業務の内容

本業務の業務従事者は、技術協力プロジェクトの仕組み及び手続きを十分に把握の上、別途 JICA が契約する評価分析分野のコンサルタント団員や調査団員として派遣される機構職員等と協議・調整しつつ、担当分野に係る協力計画策定のために必要な以下の調査を行う。

具体的担当事項は次のとおりとする。

(1) 準備期間（2017年8月中旬まで）

- ① 要請及び本プロジェクトの背景・内容を把握（要請書、基礎情報収集・確認調査報告書（2016年度実施）、その他関連報告書等の資料・情報の収集・分析）のうえ、現地調査で収集すべき情報及び調査計画を検討する。
- ② 調査に必要な関係機関に対する質問票（案）（英文）を作成する。
- ③ 詳細計画策定調査報告書（案）の目次案を担当分野の観点から検討する。
- ④ 別途 JICA が契約する評価分析分野のコンサルタントと機構が取りまとめる PDM（Project

Design Matrix) (案)、PO (Plan of Operation) (案) に対して担当分野の視点から助言し、検討を支援する。

- ⑤ 調査団打合せ、対処方針会議等に参加する。

(2) 現地業務期間 (2017年8月下旬～9月中旬)

- ① JICA スリランカ事務所等との打合せに参加する。
② NWSDB に対して調査計画を説明する。
③ 先方関係機関への協議及び現地調査に参加し、PDM に関する協議の準備に必要な範囲で、以下の項目に関する情報の収集、整理及び分析を行う。イ) の一部、ウ)、エ) 及びカ) については、評価分析分野のコンサルタントと協力する。情報収集にあたっては、“途上国の都市水道セクターおよび水道事業体に対するキャパシティ・アセスメントのためのハンドブック”を参照すること。

(JICA ホームページ :

[http://gwweb.jica.go.jp/km/FSubject0301.nsf/03a114c1448e2ca449256f2b003e6f57/8637828c6feb7f1b4925776d002bdf27/\\$FILE/1_%E3%83%8F%E3%83%B3%E3%83%89%E3%83%96%E3%83%83%E3%82%AF\(%E6%9C%AC%E7%B7%A8\).pdf](http://gwweb.jica.go.jp/km/FSubject0301.nsf/03a114c1448e2ca449256f2b003e6f57/8637828c6feb7f1b4925776d002bdf27/$FILE/1_%E3%83%8F%E3%83%B3%E3%83%89%E3%83%96%E3%83%83%E3%82%AF(%E6%9C%AC%E7%B7%A8).pdf) を参照)

- ア) 他ドナー (特に ADB) のアセットマネジメント (GIS データベースの様式や整備状況を含む)、無収水削減及び NWSDB や地域支援センター (Regional Support Center : RSC) の経営能力強化に係る援助動向、活動状況、援助協調の可能性
イ) 本プロジェクトでモデルサイトとなる RSC (西部州南部) における基本情報、管路の維持管理や無収水対策の現状についてのキャパシティ・アセスメント調査及び水道事業体用基本チェックリストの作成
- ✓ 基本情報 (事業体名、給水対象地区名、水源種別、給水能力、給水人口、給水普及率、給水時間、顧客メーター設置率、職員数等)
 - ✓ 水道事業 (管路の維持管理、無収水対策を含む) の実施体制
 - ✓ 無収水率
 - ✓ 無収水の原因
 - ✓ 管路を中心とする水道施設の持続的な活用や無収水削減に関し、過去に取られた対策とその有効性
 - ✓ アセットマネジメントの実施状況
 - ✓ 所有水道施設の概要・維持管理状況 (整備年、資産台帳等の情報を含む)
 - ✓ 所有資機材
 - ✓ 顧客メーター関連制度
 - ✓ 外部委託状況、契約内容、業者の能力 (漏水探知・修理、施設の維持管理・補修等)
 - ✓ 財務関連状況 (財務規模、収支、財務諸表の作成状況等)
 - ✓ その他本プロジェクトの活動に関連する業務の実施状況
- ウ) NWSDB 本部の研修センターで実施されている研修のうち、本プロジェクトに関連する (アセットマネジメント及び無収水対策を想定) 研修の内容及び担当講師のキャパシティ
エ) 本プロジェクトに関連する研修のうち、NWSDB 本部以外が実施している研修の内容及び NWSDB 職員の受講状況
オ) 既存の配管工向けガイドラインの内容及び活用状況
カ) 本プロジェクトの各活動を担当する NWSDB の候補部署ならびに各候補部署の所掌及びキャパシティ
キ) 本プロジェクトの実施に必要な投入と経費 (専門家、研修、C/P の配置、ローカルコスト負担等)
ク) 資機材調達に関する情報 (現地調達の可否、調達にかかる輸入・使用許可制度・調達期間、先方による予算措置を含めた調達の可否、価格調査、JICA 側が調達する資機材の種類・数量等)
ケ) 本プロジェクト実施の際に活用が想定される業務再委託先の情報 (工事業者、社会調査・環境・社会配慮等、再委託先となりうる民間企業や NGO の概要、及び再委託費用を調査)

- ④ 上記②の結果を踏まえ、担当分野の専門的観点から機構が作成する PDM(案)(和文・英文)、PO(案)(和文・英文)の修正、M/M(案)(英文)、R/D(案)(英文)に対して担当分野の観点から助言するとともに、現地調査結果報告書(和文)の作成に協力する。
- ⑤ 本プロジェクトの協力計画に係る協議に参加し、支援する。具体的には、スリランカ側からの意見について、現地調査結果等を踏まえコメントし、論理的な結論が出せるよう支援する。
- ⑥ 評価分析分野のコンサルタントと協力しながら、会議議事録を作成する。
- ⑦ 担当分野に係る現地調査結果を JICA スリランカ事務所等に報告する。

(3) 整理期間（2017年9月下旬～10月上旬）

- ① 帰国報告会に出席し、担当分野に係る調査結果を報告する。
- ② 収集資料を整理・分析する(収集資料リスト作成、質問票回答の取りまとめ等)。
- ③ 本プロジェクト協力対象となる実施機関に関するリスク管理チェックシート、水道事業体基本情報チェックシートを作成する。別途、様式は JICA から提供する。
- ④ 本プロジェクトで想定される活動に係る基本的投入計画（期間、投入、目標達成のための外部条件等）について、担当分野の専門的観点から検討を行う。
- ⑤ 担当分野に係る詳細計画策定調査報告書(案)(和文)を作成する。

※リスク管理チェックシートはプロジェクト実施の際に想定されるリスクを把握し、それに係る対応策を抽出することで、具体的なリスク回避・リスク軽減のアクションにつなげることを目的としています。

8. 成果品等

本契約における成果品は以下の通りとします。

担当分野に係る詳細計画策定調査報告書（案）（和文）（収集資料、主要な会議の議事録を含む）

提出時期：2017年10月上旬を予定

部数：和文1部

なお、上記成果品等の体裁は簡易製本とし、電子データも併せた提出とします。

9. 見積書作成に係る留意点

本公示の積算を行うにあたっては、「コンサルタント等契約における経理処理ガイドライン」(<https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/quotation.html>)を参照願います。留意点は以下のとおりです。

(1) 航空賃及び日当・宿泊料等

航空賃及び日当・宿泊費は契約に含みます（見積を計上して下さい）。

航空経路は、成田/羽田からの直行便、もしくは成田/羽田⇄シンガポール/バンコク/クアラルンプール⇄コロンボを標準とします。

10. 特記事項

(1) 業務日程／執務環境

① 現地業務日程

現地業務期間は2017年8月28日～9月20日を予定しています。評価分析分野のコンサルタントは9月3日～9月16日、当機構及び自治体所属の調査団員は9月10日～16日の現地滞在を予定しています。

本契約受注コンサルタントには、評価分析分野のコンサルタントが現地調査を開始する前に、NWSDB への調査計画の説明、ADB 等他ドナーの動向調査、西部州南部 RSC の現場業務における技術的課題調査、既存の配管工向けガイドラインの内容及び活用状況を実施し、評価分析分野のコンサルタント到着後はその他の調査を実施し、PDM 案、PO 案の検討に協力することを想定

しています。また JICA 団員滞在中は NWSDB との協力計画に係る協議支援を実施し、他団員帰国後に合意した協力計画を踏まえて、資機材調達や再委託先に係る情報の収集を実施することを想定しています。

② 現地での業務体制

本業務に係る調査団構成は、以下の通りです。

- ア) 全体総括 (JICA)
- イ) 上水道計画 (JICA)
- ウ) 協力企画 (JICA)
- エ) 管路計画・維持管理/人材育成 (官団員 (地方自治体))
- オ) 上水道事業運営/無収水対策 (コンサルタント)
- カ) 評価分析 (コンサルタント)

③ 便宜供与内容

当機構スリランカ事務所による便宜供与事項は以下のとおりです。

- ア) 空港送迎：あり
- イ) 宿泊手配：あり
- ウ) スリランカ国内における航空券の手配と支払：あり (ただし、車両での移動に比べて経済的に優位性が認められる場合のみ)
- エ) 車両借上げ：あり (全行程に対する移動車両の提供)
- オ) 通訳備上：なし
- カ) 現地日程のアレンジ：一部あり (派遣前確定分のヒアリング及び現地踏査ならびに JICA 団員滞在中の協議)
- キ) 執務スペースの提供：なし

(2) 参考資料

①本業務に関する以下の資料を当機構地球環境部水資源グループ (TEL:03-5226-9506) にて配布します。

- ・「スリランカ民主社会主義共和国上水道セクター基礎情報収集・確認調査報告書」2017 年
- ・スリランカ国「国家上下水道公社事業運営能力向上プロジェクト」概要案
- ・リスク管理チェックシート 様式
- ・水道事業体基本情報チェックシート 様式

②本業務に関する複数の案件の資料が当機構図書館のウェブサイト (<http://libopac.jica.go.jp/>) で公開されています。以下は主な例。

- ・「スリランカ国 水セクター開発事業(III)準備調査ファイナル・レポート」 2015 年
(<http://libopac.jica.go.jp/images/report/P1000021052.html>)
- ・「スリランカ国 アヌラダプラ県北部上水道整備事業準備調査最終報告書(和文要約)」2013 年
(<http://libopac.jica.go.jp/images/report/P1000009236.html>)
- ・「スリランカ国 コロンボ市無収水削減能力強化プロジェクト プロジェクト事業完了報告書」
2012 年
(<http://libopac.jica.go.jp/images/report/P1000008576.html>)
- ・「スリランカ国 コロンボ上水道セクター開発基礎情報収集調査報告書」2008 年
(<http://libopac.jica.go.jp/images/report/P0000246472.html>)

③本業務に関する複数の案件の評価資料が当機構ホームページの事業評価案件検索 (<http://www2.jica.go.jp/ja/evaluation/index.php>) よりアクセスできます。

- ・対象国「スリランカ」、分野「上水道」を選択した検索結果([事業評価検索結果 URL](#))

④本業務に関する複数の案件の概要情報等が当機構ホームページの ODA 見える化サイト (<http://www.jica.go.jp/oda/index.html>) よりアクセスできます。

- ・対象国「スリランカ」、分野「水資源・防災」を選択した検索結果([ODA 見える化サイト検索結果 URL](#))

⑤NWSDB の諸情報 (Corporate Plan や Annual Report など) は NWSDB のホームページ

(<http://waterboard.lk/web/index.php?lang=en>) からアクセスできます。

⑥スリランカ水セクターにおいて ADB が実施しているプロジェクトの情報は、ADB のホームページ (<http://www.adb.org/projects/search/country/sri>) からアクセスできます。

(3) その他

- ① 業務実施契約（単独型）については、単独（1名）の業務従事者の提案を求めている制度ですので、複数の業務従事者によるプロポーザルは無効とさせていただきます。
- ② スリランカ国内での活動においては、JICA 安全管理措置を遵守するとともに、JICA 安全管理部、JICA スリランカ事務所の指示に従い、十分な安全対策措置を講じることとします。また以下についても対応願います。
 - ア) 現地渡航前に外務省「たびレジ」に業務従事者を登録してください。
 - イ) JICA ウェブサイトで提供する安全対策研修（Web 版）の受講を義務付けています。「安全対策研修（Web 版）」のアクセス方法は国際協力キャリア総合情報サイト「PARTNER」（外部サイト）から可能となっていますので、現地渡航前の受講をお願いします。
- ③ 本業務の実施にあたっては、「JICA 不正腐敗防止ガイダンス（2014年10月）」の趣旨を念頭に業務を行うこと。なお、疑義事項が生じた場合は、不正腐敗情報相談窓口または JICA 担当者に速やかに相談するものとします。

以 上